



本部第32回定期大会に参加!

小工支部を代表して高崎委員長が発言!

7月5日、本部「第32回定期大会」がJR九州ステーションホテル小倉で開催され、小倉工場支部からは高崎委員長、稲富副委員長、中園本場分会長が参加しました。

大会では小工支部を代表して高崎委員長が発言しました。発言の要旨は次のとおりです。

冒頭、今回の大会で退任する芦原中央執行委員長はじめ役員の皆さんに感謝の意を述べた後、「会社が進める効率化施策によって個々人のやりがいや鉄道作業の魅力が失われていく事に不安と不満を抱えていないか」と課題を提示し、「グループ会社や協力会社に業務移管されていく中で仕事や雇用を拡大させていくことは悪いことではない」としながらも、「本体の社員が技術力や学ぶ環境を失われていく中で管理を求められても、鉄道作業をわからずに何を管理し、どのように判断すればよいのか」と将来的な不安を指摘。

本体の社員が技術を学ぶためにグループ会社や協力会社へ出向したとしても、出向先ではJR九州労組がこれまで勝ち取ってきた様々な労働条件が適用されない現実があり、「今までとは想定されない要求作り、交渉をする環境づくりが大きな課題となってくる。退職しても（JR九州社員として）働ける環境のなか、組合員確保も含めて新たな活動が必要だ」と本部への課題提示を行い、「組合員の格差が拡大しないために、組合離れが広がらないようにするためにも、本部はいろいろな状況の組合員の声を聞き、交渉の拡大を進めてもらいたい」と本部への要望を述べました。

本部 木村副委員長が勇退!

今回の大会は役員改選が行われ、小倉工場支部より選出の木村智隆中央執行副委員長が退任されました。これまで長い間の中央執行委員としてのご活躍、おつかれさまでした。